

FREE
ご自由に
お持ち帰り
ください。

2013.11
07
ふゆ号

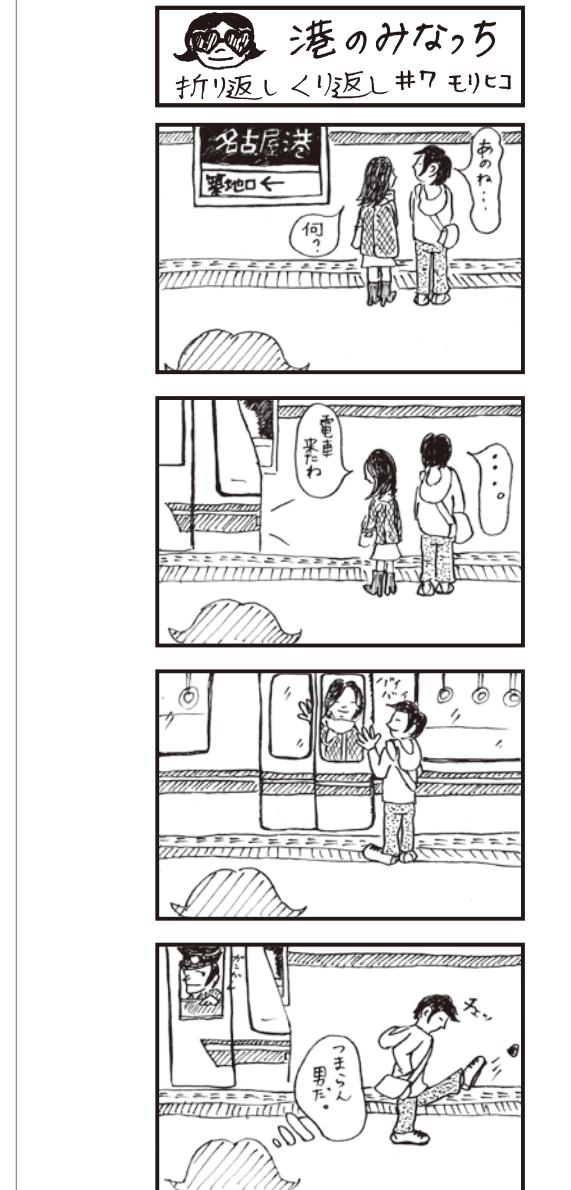
新聞 港まち ぶらり

なごやの
みなとまち



港まちづくり協議会「ぶらり港まち新聞」

[ヒト×ヒト]
潜る魅力を知り尽くした港のダイバーたち
[港まちビーブル]
水族館で働く館内ガイド・中西さんの1日
[モノもの語り]
伊勢湾台風前から使われてきた現役の道具たち
[港のきなく⑦]
女性が語るライフ・ヒストリー 緑があつて西築地
[港まちレポート]
「みなとイルミナート」を語る、企画者たちの想い
[特集]
潮風に吹かれて
ぶらりまち歩き。
港まちデート♥



●企画・編集
佐藤 嘉宏（なごやのたからものプロジェクト）
吉川 敏一（港まちづくり協議会）
阿西 康太（港まちづくり協議会）
堤田 麻衣子（港まちづくり協議会）
●取材
谷 亜由子（なごやのたからものプロジェクト）
赤澤 ゆかり（編集企画室 群）
花島 敏子（編集企画室 群）
●アートディレクション・デザイン
COUPGUT
●撮影
児島 章次 表紙、p.1~6、9~12
●マンガ
前田 守彦（たからのもちぐされ屋）
●印刷
東浦共同印刷
●発行
港まちづくり協議会
〒455-0037 名古屋市港区名港一丁目14番23号
コーラルビルさんビル2階D号室
TEL 052-654-8911 HP minnatomachi.jp
MAIL info@minnatomachi.jp
月曜日・金曜日 9時~18時
(祝日・年末年始を除く)
※港まちづくり協議会では、ボートピア名古屋設置に伴い競艇を実行する自治体（蒲郡市など）から名古屋市に交付される「環境整備協力金」を用いたまちづくり事業を、住民と行政との協働により検討・実施しています。

港まちへのアkses

【名古屋駅から約25分】
市営地下鉄東山線「栄」駅のりかえ。
名城線金山方面「名古屋港」行き、
「築地口」駅、「名古屋港」駅(終点)下車。
【金山駅から約10分】
市営地下鉄名港線「名古屋港」行き
「築地口」駅、「名古屋港」駅(終点)下車。



港まちづくり
協議会の
スタッフが
アレコレ
が継続する

新たな賑わいの
作り方

そして、名古屋テレビ塔で行われたソーラー電池で、名古屋港まち新聞が作成されました。

スキマをまちの元気の源に！

今回の感動した
おはなし
「とんスバ」
もう食べましたか？

港まち新名物？

【お楽しみに！】

次号予告

みなどで働く
ひとびと（仮）

お楽しみに！

次号予告

みなとイルミナート2013

2013/11/1 ~ 12/25

みなとまちで遊ぼう！

あなただったら、みなとまちで何して遊びますか？

イルミネーションで暖かなムードに包まれる港まちを楽しむプログラムもたくさんあります。

みんなとまちにぜひお越しください。

詳しくはホームページをご覧ください <http://minnatomachi.jp>



港まちで逢いましょう。



【港まち】というと神戸や横浜が代名詞のようにおしゃれで、異国情緒が漂う語られて、異国情緒が漂う「オシャレ」で「アート」で「ハイセンス」というイメージが先行しがちです。しかし、実在する多くの港まちは、そこにしかないとつておきの魅力がそれぞれにあるはず。そのことを知るうともせず、受け売りの定番イメージをうらやましがっているのって、ちょっととダサイ(もつたいない)と思うのです。

この「ぶらり港まち新聞」が大切にしていることも、そんな一般的なイメージとは違う名古屋の港まちの魅力を再発見し、まちの皆さんや多くの読者の皆さんと楽しみながら、その魅力を愛でていくこと。そこに生まれ培育していくまちへの愛着こそが、素敵なもの育んでいく「まちづくりの原動力」になるのだと考えています。

今号を総じて浮かび上がってきたテーマは『港まちで逢いましょう』。その昔、名古屋の港まちにも、大勢の外国人や荷役労働者達が行き交い、まちが人で溢れかえっていた時代があったそうです。そこにはきっと多くの出逢いや別れがあり、さまざまなお話があつたことでしょう。その頃の賑わいそのものが戻ってくることはないのかもしれません。でも、そんな歴史に想いを馳せつつ、現在の港まちを見つめていると、そこには新たな物語が再び巡ってくるような予感がしてきます。

澄みきった空気が気持ちいい季節。あんなにも深かつた緑は、いつのまにかその表情を落ち着かせ、冬の気配さえ漂い始めています。ぜひ港まちにお越しください。港まちで逢いましょう。



特集 潮風に吹かれてぶらりまち歩き。港まちデート♥

秋も終盤を迎えた港まちでは今年も年末にかけての恒例イベント「みなとイルミナート2013」がはじまりました。イルミネーションのあかりで港まちが1年でもっとも暖かなムードに包まれる季節。折しもシャチやイルカの赤ちゃんが続々誕生。親子で泳ぐかわいい姿が見られます。

文／谷 亜由子

今度、水族館行かない? 動物好きな私のために提案してくれた水族館デート。シャチの赤ちゃん見たいって言ったの覚えてくれたんだ。そういえば名古屋港に行く何年ぶりかな。せっかくだからふたりで港まち散策も楽しそう。おいしいものも食べたいな。なんだかワクワクしてきちゃった! ★名古屋港一のデートスポット名古屋港水族館。シャチ、イルカ、ベルーガなど昨年から赤ちゃんが続々誕生。親子で泳ぐかわいい姿が見られます。



1. 名古屋港水族館



2. プティアルカンシエル



3. 南極観測船ふじ



このエンジンがすごい!



6. シートレインランド



「南極観測船、ちょっと興味そぞれない?」「うん。行ってみたい!名古屋港つて水族館だけじゃなくてほかに見所とか穴場がいろいろあるんだね」★水族館の隣には昭和40年から18年間南極観測業務を行った南極観測船「ふじ」が一般公開されています。調理室、食堂、理髪室や診察室など、活躍していた当時の船内の様子をマネキンや小道具を使い忠実に再現。あまりのリアルさに、船内での生活ぶりや会話の内容まで聞こえてきそう。



6. シートレインランド



6. シートレインランド

「夜の観覧車って初めて。港の夜景もロマンチック!」「1日があつという間だったね」★メリーゴーランド、ファミリーコースターなど全部で10のアトラクションが楽しめる港の遊園地。中部地区最大級、85mの高さを誇る大観覧車は名古屋港のランドマークの存在。夜は鮮やかにライトアップされ、より幻想的な雰囲気に。床まで伸びてシースルーゴンドラに挑戦してみては?



5. Cha-hoo



5. Cha-hoo

港のメインストリート、江川線沿いを歩いていたら素敵なお店を見つかる!「車だったら見過ごしてたかも」「いっぱい歩いてお腹空いたやつだ。おいしいもの食べたいな~」★夜毎地元の若者たちでぎわうバー「チャーフー」。初めてのお客さんでもすぐに仲良くなれるアットホームな雰囲気が人気。昼はマクロビオティックを取り入れた手作りメニューの数々や健康的な中国茶が楽しめる。



4. 肉のマルサン

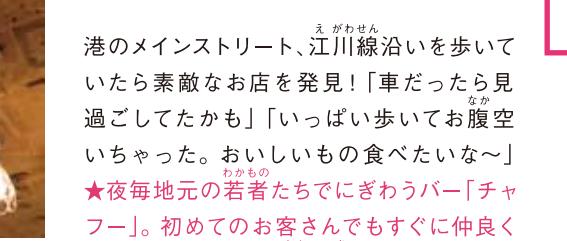


4. 肉のマルサン

犬と散歩中のおじさんと会話したり、駄菓子屋さんの店先でガチャガチャにはまってはしゃいでみたり。「知らないまちをぶらりと歩くって面白い!」「ちょっとお行儀悪いけど、ふたりならこんなこともできちゃうね」★築地口商店街にあるお肉屋さん。店頭で揚げたてのコッペやハムカツをテイクアウトできます。普段はご近所の主婦や地元の学生さんたちの御用達。おやつ代わりにアツアツのコロッケをその場で頬張って再びまち歩きへGO!

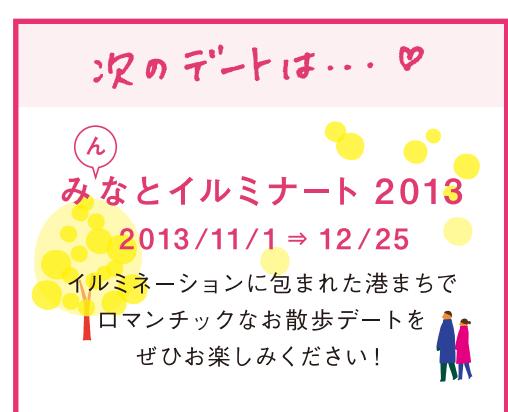


4. 肉のマルサン



4. 肉のマルサン

犬と散歩中のおじさんと会話したり、駄菓子屋さんの店先でガチャガチャにはまってはしゃいでみたり。「知らないまちをぶらりと歩くって面白い!」「ちょっとお行儀悪いけど、ふたりならこんなこともできちゃうね」★築地口商店街にあるお肉屋さん。店頭で揚げたてのコッペやハムカツをテイクアウトできます。普段はご近所の主婦や地元の学生さんたちの御用達。おやつ代わりにアツアツのコロッケをその場で頬張って再びまち歩きへGO!



定休日	月(祝日の場合は翌日)
6 シートレインランド	21時～26時
5 Cha-hoo	10時～22時
4 肉のマルサン	10時～23時
3 南極観測船ふじ	10時～19時
2 プティアルカンシエル	11時～19時
1 名古屋港水族館	11時～19時

定休日	火・水
6 シートレインランド	21時～26時
5 Cha-hoo	10時～22時
4 肉のマルサン	10時～23時
3 南極観測船ふじ	10時～19時
2 プティアルカンシエル	11時～19時
1 名古屋港水族館	11時～19時



水族館で働く館内ガイド・中西さんの1日

水族館で働くのがずっと夢だったという中西さん。念願かなって今年6月から名古屋港水族館のインフォメーションスタッフに。来場者の出迎えから館内のガイド、イベントのアナウンスと次々に仕事をこなす忙しい毎日の中でもっとも楽しいのはお客様と接している時だそう。明るい笑顔で日々奮闘中です。



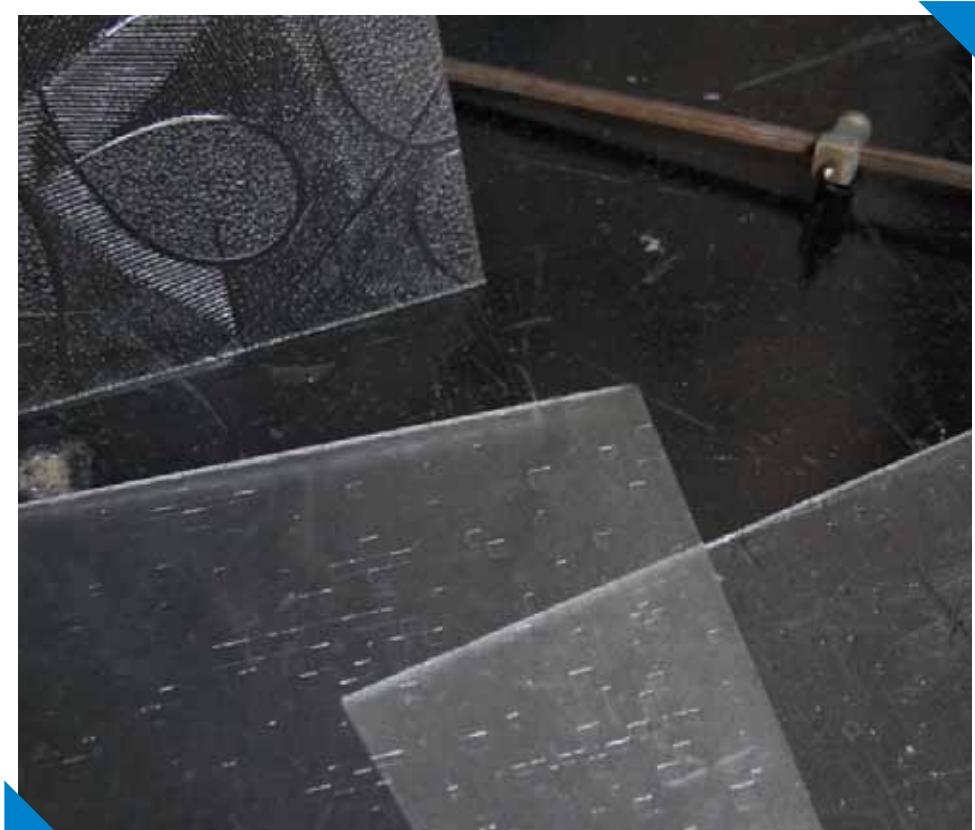
潜る魅力を知り尽くした港のダイバーたち

35年前に開業した「アルタバディマリン」。当時はブームの先駆け的存在として注目を集め、これまでに多くのダイバーを育成してきた本格ダイビングスクールです。今年の夏にお店の改装を行い、より明るく親しみやすい雰囲気に生まれ変わりました。

- *みなさん、ダイビングのインストラクターさんですか？
東良さん 僕とりーくんがインストラクターで彼女がダイブマスター、大塚くんは学生。研修生として来たばかり。
- *潜るのは週に何日くらい?
東良さん 毎日ですね。
- *毎日ともなると体力がいりますね。
李さん 水族館の仕事があるのでほぼ毎日潜ります。
- *東良さん 水槽の清掃をするのも僕たちの仕事なんですよ。
- *今朝、水族館の取材にうかがった時シャチの水槽をお掃除してた?
東良さん はい。それまさに僕とりーくん！みなさん気が知つていわゆるスキーパー・ダイビング。そのライセンスだけでは水中での作業はできないんです。別で潜水士の国家資格を取らないと。
- *みなさんは、ダイビングを始めたきっかけは?
永牟田さん ここに来たばかりの頃は私も毎日水族館の水槽に潜っていて、一ヶ月間筋肉痛でつらかったです。李さんはこの前、朝から駐車場で腕立てしてたね。笑。私もたまに加圧トレーニング行ったりします。
- *みんな、ダイビングを始めたきっかけは?
東良さん 僕は学生の時、希望者が参加する授業でダイビングの免許を取るうつていうのがあってそれを行なったのがきっかけ。先輩の撮る水中写真が綺麗で自分もそういうの撮りたいなと思って。でも写真はすぐに挫折しましたけど…。
- *みんなで潜りに行くことは?
李さん 僕はまったく海のないところで生まれ育つて、8年前に初めてサイパンで海に入つて感動した。
- *みんなで潜りに行くことは?
東良さん 毎日の仕事があるし、なかなか揃つてというのはできな
- *みんなで潜りに行くことは?
永牟田さん 私は沖縄でダイビングにはまつて。仕事もダイビングに関係したことがいいなと思ってここに。
- *みんなで潜りに行くことは?
李さん ここでリラックスして話したりはしますけどね。
- *みんなで潜りに行くことは?
東良さん 自然とみんな集まってね。たいてい、串本や伊豆半島のダイビングツアーや企画の話とかしてますね。
- *みんなで潜りに行くことは?
永牟田さん そう！美味しい魚とか食べれるツアーがいいなーとかね。
- *みんなで潜りに行くことは?
全員 うん、そうだ！だいたいいつもそんな感じですね(笑)

02. 柄入りの板ガラス

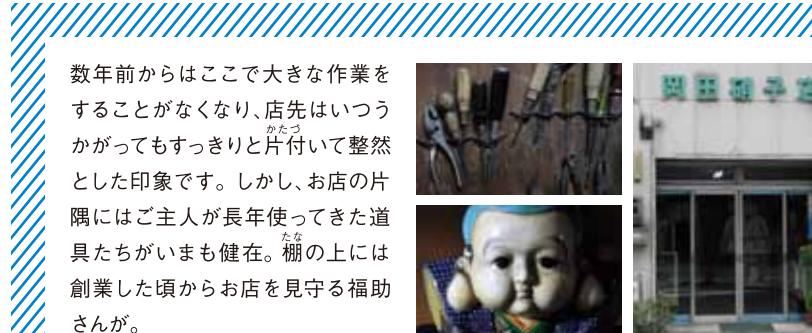
モダンさを競って流行した
昭和の香り漂うガラスたち
銀河、笹、夜空、銀杏、若葉…
これ、すべてガラスの名前です。
なんともいえない趣があつて風情
合っていたのだそう。「今はどこ
の家もこういうのはほとんど使わ
なくなつたわねえ」とつぶやは
まさに岡田硝子店の片隅には
いまや使い道の無くなつた当時の
板ガラスの端切れが何枚は残され
ています。伊勢湾台風の後にはま
なつてしましましたが、かつては
どのお宅でも室内外の戸や建具に
本家屋は少なくなり一般の住宅で
も建具や障子があまり使われなく
なつてしましましたが、かつては
様々な柄が施された薄い板ガラス
がはめ込まれていたのです。こ
のように柄の入ったガラスが主流
だった頃には、いくつものガラス



03. 作業台



伊勢湾台風をくぐり抜けた
貴婦と存在感
現在は3代目になる息子さんが
家業を継ぎ同じ港区内の別の場所
に作業場と店舗を開いている岡田
硝子店ですが、ご主人が健在の頃
には築地口にあるこの店で仕事を
受け、あらゆる作業をこなしてい
ました。当時の名残として今も店
頭の一等席に鎮座するこの木製の
机がつしりとしていかにも頑丈
そう。店内でひときわどつし
とした存在感を放っています。は
まざとによれば「これもね、私
います。

住所 名古屋市港区
名港1-20の3

「岡田硝子店」

昭和初期に創業。当

時から主に扱ってきた

のは住宅用のガラス。

昭和の頃はパチンコ台

のカバーに使われるガ

ラスの交換などの仕事

も多かったそつ。住宅

のよう薄手の板ガラ

スはどんどん姿を消し

てしまつたが、息子さん

の代になりサツンの施

工や修理などを請け負

う。時計のガラス交換

などの依頼にも丁寧に

応じてくれる。

01. 円形のガラス切り機



モノもの語り

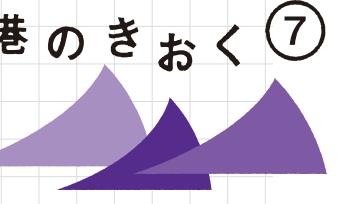
岡田硝子店 で
見つけたモノ語り

今回は港まちのガラス屋さんとして親子三代にわたって看板を守り続ける「岡田硝子店」を訪ねました。創業は昭和のはじめ。かつてこのまちに甚大な被害を与えた伊勢湾台風直後には、今は亡き主人がまち中の家という家のガラス修理に奔走。奥さんはま子さんが道具に秘められた思い出を語ってくれました。文／谷 亜由子

80年使い続けても変わらない
鮮やかな切れ味
「ガラスを切るときには、こうして使うの」店頭に置かれた見慣れないこの道具。何に使うのか尋ねる私たちに、言葉で説明するよりも早く手を動かして使い方を実演して見せてくればました。その様子で「目瞭然」。そう、これはガラスを円形に切る道具だったのです。コンパスのように回転して円周を描くアーム。その先に付けられたダイヤモンド製の刃の鋭い切れ味は何年経っても変わりません。丸いガラス板の主な用途は時計や量りの文字盤のカバー。しかし今はアクリルなどの素材に取つて代わりガラスの需要はめっきり減りました。「60年前に私がお嫁に来前からあつた。だからそれより古いや。嫁ぐまで見たことも触ったこともなかつた特殊な道具もございませんでした。主人の作業を見様見真似で手伝つていてるうちにいつしか難しく使いこなせるようになったのだとか。」



朝、昼、夜と違った表情を見せてくれる「シートレインランド」の観覧車。港まちは、カメラを片手に歩くのも楽しい。



女性が語るライフ・ヒストリー 縁があつて西築地

生まれも育ちも西築地の竹田タツエさん（80歳）と山田和子さん（75歳）、21歳でお嫁に来た中村志づ子さん（77歳）。若い頃から顔見知りでしたが、よくおしゃべりをするようになつたのは老人クラブに入つてから。3人に集まつてお話を聞いたいたたら、西築地で暮らす女性たちのいきいきとした人生が見えてきました。文／赤澤ゆかり



は中止」。そんな築地神社も焼けてしましました。

竹田さんの結婚（りこん）は、昭和32年、毎日のように活気に満ちた港と、名古屋港も多くの努力で復興していきます。竹田さんは女学校を卒業すると海運会社に就職。「各会社の前に手配師がいてね『あんこ』と呼ばれていた日雇人に現金を渡していました」とした。

そして昭和32年、毎日のように家に遊びに来ていた幼馴染と、結婚式は熱田神宮（ひねだじんぐう）で執り行われました。忙しくて奮発したんじゃない（笑）。ご主人は港の綿花関係のサラリーマン。数年后には自分で仕事を立ち上げました。忙しくて朝出たら、午前様。私も「家なう」といらないがねって言いました。

そうよ。新婚旅行は九州に行きました。帰りは福岡から飛行機で。宿は親戚や近所の人人が手伝つて作りました。昔はみんな橋を渡つて、港元町内会に嫁ぎました。結婚式は熱田神宮（ひねだじんぐう）で執り行われました。忙しくて奮発したんじゃない（笑）。ご主人は港の綿花関係のサラリーマン。数年后には自分で仕事を立ち上げました。忙しくて朝出たら、午前様。私も「家なう」といらないがねって言いました。

一方、仕事は厳しいものでした。

「5時45分が出勤タイム。内田



伊勢湾台風の痛手からも港は復興していきます。山田さんも、24歳で同じ中学の顔見知りの方と結婚。式は築地神社。以後3人は、子育てする時代に。

伊勢湾台風の痛手からも港は復興していきます。山田さんも、24歳で同じ中学の顔見知りの方と結婚。式は築地神社。以後3人は、子育てする時代に。



3 昭和35年



4 昭和34年



5 昭和34年

【伊勢湾台風】
お嫁に来た中村さんと
昭和33年、結婚して西築地に来ました。

中村志づ子さん

「見合いでですよ。家は今の西尾市のお農家で、お見合いしたのはちょうど10月の稻刈りの時。21歳でした。家からタクシーに乗つて西築地に来ました。結婚式は新築した家で。今もそこに暮らして

います」。

家を新しくして、志づ子さんを迎えてくれたんですね。翌年に男の子が生まれ、すぐに遭遇したのバスは、今では想像もつかない西築地小学校も焼けてしまつて、西築地神社で授業を受けたんです。石畳に座布団を敷いてね。屋根がないから雨が降ると授業

一歩足を中に入れ」「つて言つて、ギュウギュウ。通過して怒られて、乗れないから仕方がない。砂埃を上げながら、港で働く人たちを乗せた超満員の市バスや市電が行き交う様子が目に浮かびます。

伊勢湾台風

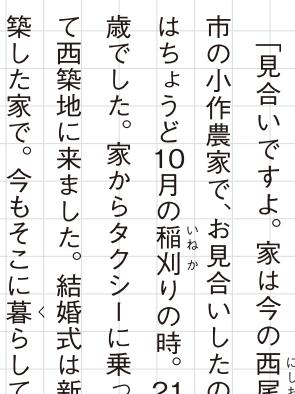
昭和33年、結婚して西築地に来ました。

中村志づ子さん

市のお農家で、お見合いしたのはちょうど10月の稻刈りの時。21歳でした。家からタクシーに乗つて西築地に来ました。結婚式は新築した家で。今もそこに暮らして

昭和7(1932)年	・竹田タツエさん生れる ・中川運河全面開通
昭和11(1936)年	・中村志づ子さん生れる ・名古屋港中央ふ頭埋め立て完成
昭和12(1937)年	・名古屋港開港30周年 ・港区誕生
昭和13(1938)年	・山田和子さん生れる ・市電架線地線と下之一色線連絡完成
昭和16(1941)年	・第二次世界大戦参戦
昭和20(1945)年	・西築地小学校、築地神社焼失 ・終戦
昭和32(1957)年	・竹田さん結婚 ・築地神社本殿再建
昭和33(1958)年	・中村さん結婚
昭和34(1959)年	・伊勢湾台風
昭和36(1961)年	・伊勢湾台風 ・築地神社拝殿復興
昭和37(1962)年	・山田さん結婚

- 1 女学校1年生の学級写真。竹田タツエさん(前から2段目、右から4番目)。終戦すぐで、モンブ、スカートなどそれぞれの恰好をしている。1年後にはみんな制服になりました。(昭和20年)
- 2 成人式後の編み物学校のファッショントー。右から2番目が中村志づ子さん。(昭和31年)
- 3 交通局体育会のサイクリングで。山田和子さん。(昭和35年)
- 4 伊勢湾台風の被害。貯木場から流れ出たラワン材があまり大きな被害を与えた。(昭和34年)
- 5 花形だった市バスの車掌さんの制服姿で。立っているのが山田和子さん。(昭和34年)



【二号地東部】
中村志づ子さん

西築地老人クラブ会長。竹田さんと西築地小学校の同級生。今回登場していただいた3人の女性をご紹介いただきました。「回想法」など取り入れて、いつまでも若々しいられる楽しいクラブの運営にご尽力されています。



今回お世話になつた方

【神頭町】
山下満さん

みんなとイルミナート 2013
2013/11/1 → 12/25

イルミネーション
キャンドル色のイルミネーションが港まちのメインストートに飾られます。
11/1(金)~12/25(水) 16:00 ~ 22:00

みんなとトクトク
「みんなとトクトクパンフレット」をゲットして、みんなのいんなんお得を受けよう!
11/1(金)~12/25(水) ※時間は店舗により異なる

11/15(金)・16(土)のイベント情報

“あかり玉”ツリー
地域のみんなで作った500個の“あかり玉”をまちなかに飾り、港まちに彩りを添えます。夜の散策をお楽しみください。

11/15(金)・16(土)16:00 ~ 20:00
●展示場所：築地口・江川緑沿いの協力店前 約50ヶ所

ペロタクシ
環境と人に優しい3人乗りの自転車タクシー。名古屋港駅と築地口駅の間を運行します。
11/15(金)・16(土)11:00 ~ 19:00
●乗車料：無料

光る風船イベント 1000人で遊ぼう!
LEDライトで光る1000個の風船を手にまちを彩る参加型イベント。光る風船と素敵な音楽LIVEで2日間のフィナーレを飾ります。風船はイベント終了後にお持ち帰りいただけます。
11/16(土) 17:00 ~ 18:00 ●会場：港橋広場公園

みんなマーケット
食べ物やお菓子、手づくり雑貨など、オーガニック系から港まちの味まで様々なテントが並びます。青空ステージも登場。
11/16(土)
第1会場 11:00 ~ 16:00 ●会場：築地口商店街 上
第2会場 12:00 ~ 18:00 ●会場：港橋広場公園

みんなステージ
名古屋港の海を前に音楽ライブを行います。
11/16(土) 11:00 ~ 16:30
●会場：名古屋港JETTY前広場

詳しくはホームページをご覧ください <http://minnatomachi.jp>



「みんなとまちで遊ぼう！」をテーマに掲げた今年の「みんなとイルミナート」。各コンテナツを企画した皆さんと一緒にイベントにかける想いを語り合いました。

イベント本番へ向け忙しく準備を進めるなか、短い時間ではありましたが大切なことを確認し合えた濃密な時間となりました。文／港まちづくり協議会事務局

「みんなとイルミナート」とは？

港まちの皆さんのがからイルミネーション事業をスタートしたのが2007年。2009年からは「みんなとイルミナート」と名付け。今年で5年目を迎えます。このイベントタイトルは、イルミネーションを港まちで開催することを表す造語で、「みんなとい（る）港」を楽しもうじゃないかという想いも込められています。イルミネーションを飾ることが目的ではなく、それはあくまでもさしつかげにすぎない。今年のテーマ「みんなとまちで遊ぼう！」は、そうした考え方をストレートに表現するものです。

それぞれが「やってみたいこと」を集めて

「ルールがないからこそ自分たちは当日の運営を担当する山田さんは、数々のビッグイベントを経験してきた山田さんが今一番注目しているのは、一人ひとりの個性が

作りの儀の夢だね】。そう語る

いで注意しあえる。誰もが自己責任で笑顔で参加できるバザールを作ったのが儀の夢だね】。そう語るのは、山田さんが今一番注目しているのは、一人ひとりの個性が

ちで遊ぼう！」は、そうした考え方を守るために、「みんなとまちで遊ぼう！」は、そ

れは、この港まちを舞台にしたり

せ」は、この港まちを舞台にしたり

渡辺さん。海賊キッドの祕宝を探

めに、この港まちを舞台にしたり

ア・ロールプレイングゲーム。

今日は、伊藤さんが所属する日本

ダイエーシティ推進協会とともに、

視覚障害の疑似体験を応用し、洞窟をイメージした暗闇体験を提供

するコラボレーションが組み入れ

られています。伊藤さんのように

平成27年に地元学区が創立

100周年を迎えるにあたり、イベ

ントも大きく盛り上げていく予定です。地元に暮らす人はもちろ

ん、名古屋のみなとまちと一緒に盛り上げたいという想いですな

る皆さんとともに、「関わるみんながみんなと一緒にこのイベントへ

運営」「あかり玉ツリー」のまちなか

展示、港まちでの食事や買い物に

大活躍の「みんなとトクトク」など注

目のコンテンツがまだあります。

この秋から冬にかけては、ぜひ港まちへお越しください！

新しい働き方にチャレンジする皆さんがそれぞれの分野を越えて集まっていていることもひとつ

素晴らしい成果です。

自分が作ったものを作った。馴

いっぽいにしていく意気込みます。

「自分が作ったものを作った。馴

いっぽいにしていく意気込みます。

港まちの皆さんと一緒に協議会事務局